

令和4年1月の電子カルテ(病院情報システム)の入れ替えに合わせて、薬剤部門システムも全面的に更新しました。薬剤部門システムは電子カルテと連動し、機能を余すことなく活用することが求められます。薬剤部門システムが古いまではフル活用できいため、今回は電子カルテと薬剤部門システム・調剤機器の同時更新を実現しました。

薬剤部門システムは、医師の処方を解析し、必要な情報を付加することで、薬剤師による調剤をサポートする

する大事な役割を担っています。新しいシステムでは処方内容をより適切に判断することでき、薬剤師の業務をよりきめ細やかにサポート出来るようになります。また、高度なスクリルが必要な粉薬の調剤も自動調剤ロボットにより効率化され、今後は薬剤師が患者さんや医療スタッフへの情報提供や処方相談により多くの時間をかけられるようになると期待されます。さらに、今回のシステム更新を機に内服薬の包装形態(シート、一包化などのこと)を見直すこと

薬剤部門システムを全面更新しました

～高度な薬物療法を安全・安心かつ効率的に提供～



散葉調剤ロボット

になり、3月以降は患者さんに最適な形態で調剤する運用に変更予定です。薬剤部はこれからも患者さんへより安全かつ安心な薬物治療の提供に努めます。



No. 85 号

OSAKA UNIVERSITY
HOSPITAL



2022(令和4)年1月25日発行

発行／大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課)
住所／〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-15
TEL／06-6879-5111(代表)

QRコードから本院ホームページをご覧いただけます



<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp>

禁転載（この紙面は再生紙を使っています）